

最近の注目情報詳細 (2025 年 4 ～ 8 月)

1. 十倉氏、「道州」で地方創生を 500 万人が鍵

(2025 年 6 月 30 日 共同通信)

十倉雅和前経団連会長（74）は 30 日までに共同通信のインタビューに応じ、都道府県より広域な「道州」の枠組みで地方創生を目指すべきだと述べた。各都道府県が考える戦略は「観光や農業の振興といった金太郎あめの政策になりがちだ」と指摘。半導体やクリーンエネルギーなどの成長産業の集積には人口 500 万人以上の単位で考えるのが鍵だと訴えた。

2. 将来的な「道州制」検討を提言…関経連、 関西広域連合に「見直し必要な時期きている」

(2025 年 7 月 18 日 読売新聞)

関西経済連合会は 17 日、近畿地方の府県などで行う関西広域連合に対し、将来的な「道州制」の検討や事務局の機能強化などを求める提言を発表した。

道州制については、都道府県を存置した形での導入なども選択肢だとしており、新たな広域行政に関して柔軟な議論を行うよう要請している。

3. 橋下氏が維新・吉村代表に対し“勝手に”提言 「維新は与党と連立せよ！そして『副首都』実現へ」

(2025 年 7 月 21 日 FNN プライムオンライン)

気になる今後の政局が話題となる中、日本維新の会の創設者である橋下徹氏が「維新が組んだらいい」と大胆な提案。

維新が掲げる「”副首都構想”を実現するため、政権入りして、吉村代表が知事と総務大臣を兼職すればいい」と持論を展開した。